

《担当者名》教授 / 飯塚 健治

【概要】

現代のがんについての理解を深めるに当たって必要な様々な情報を整理して修得する。

【学修目標】

- ・がんに関する統計の動向を説明できる。
- ・がんを含む様々な疾患の基本的傾向について説明できる。
- ・がんに対する多様な対策や検診について説明できる。
- ・がん対策研究についての全体像を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	保健統計	・がんを含む様々な疾患の動向や傾向について概説できる。	飯塚 健治
2	がんの実状・国民医療	・がんの実状と国民医療の動向について説明できる。	飯塚 健治
3	がん対策推進基本計画 がん診療拠点病院	・行政としてのがん対策や、治療に関わる医療機関について概説できる。	飯塚 健治
4	がんの臨床検査	・がんに関する臨床検査について概説できる。	飯塚 健治
5	課題検討 その1	・これまでの学習内容から任意の課題を選び、調査・考察の上でディスカッションを行う。	飯塚 健治
6	がん検診	・がんの検診の実態、内容と有効性について概説できる。	飯塚 健治
7	癌研究	・がんに関する様々な基礎・臨床研究について簡単に説明することができる。	飯塚 健治
8	緩和ケア	・緩和ケアの実態と内容について概説できる。	飯塚 健治
9	課題検討 その2	・これまでの学習内容から任意の課題を選び、調査・考察の上でディスカッションを行う。	飯塚 健治
10	まとめ	・これまでの学習内容をまとめる。	飯塚 健治

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席・学習態度・ディスカッションの内容（50%）およびレポート（50%）により成績を評価する。

【教科書】

なし（必要に応じて配布）

【参考書】

なし

【学修の準備】

各項目に関連する資料には日常から興味を持って接し、情報を入手しておくこと。